懇談会開催日:令和6年9月5日(木)

地区:中島

要望・意見内容	市長回答
伊勢市が発行している「防災マップ」では、辻久留台団地の山側斜面は「土砂災害特別警戒区域」となっています。辻久留台団地の山側斜面の今後の災害防止に係る計画的・予防的な対策等について伺いたい。また調査等を行う際には、事前に連絡いただいて立ち合いたい。	現時点での危険性は確認されておりませんが、危険性がどのレベルなのかということをもう少し調べさせていただきたいと思います。
第3次伊勢市総合計画の中間評価と後期に向けての取組みについて、 1. 地域を支える人材確保・育成という課題に対して取り組んだ現状の評価はどう考えていますか。 2. 総合計画最終年2029年(5年後)に向けて中島学区まちづくり協議会と自治会が本取組に対して主として取り組むことは。必ずやること、できればやって欲しいことはどう考えていますか。 3. まちづくり協議会と自治会の活性化には行政の強い能動的なリーダーシップが今まで以上に必要と感じていますが、どう考えていますか。	いと考えています。 2. 前にやっていたから今回もやるではなく、今いるメンバーでやれること、事業の棚卸しに
巨大地震や津波被害による長期にわたる生活避難所として考えた場合、伊勢宮川中学校屋 内運動場には冷暖房空調施設がありません。冷暖房空調施設の早急なる設置を望みます。	予算を国からいかに引っ張ってくることが出来るか、市長会でも議論しながら国への要請を していきたいと思います。
度会橋東詰広場の東屋への電源コンセント新設を要望します。電源コンセントが無いため、各 イベント実施にあたり、仮設電源工事が難しい状況となっています。	電源の容量諸々を一度検討させてください。
春まつり、桜の時期に観光客受入業務委託を受けていますが、ピーク時には駐車場の確保に苦労しています。度会橋の上流側に30cm程度かさ上げした広場が5区画ほどあり、この部分をせめて半分ぐらいでも平地にして舗装し、駐車場として利用できませんか。	活用も含めて国の方にも確認し、相談させてください。
過去の台風被害で、その都度堤防補修がされていますが、辻久留町の水管橋からJR鉄橋までの堤防は安全ですか。この地区の堤防に被害が及ぶと伊勢市内が全滅です。	平成16年の台風21号以降、堤防整備や治水対策を行い、現状として大雨が降ったときや宮川のダムの放流に耐えられる環境のレベルまで構築されています。今後も注視しながら、国や県とも協議を進めていきたいと思います。
水道管は埋設して長い年月が経つと材質や継ぎ目が劣化して漏水が発生すると聞きます。能登の地震時も水道の復旧に数か月かかったと聞いていますが、伊勢では水道管の耐震と老朽化対策はどのようになっていますか。	水道管の耐震化と老朽管の更新につきましては、計画に基づき進めておりますが、国にも掛け合っていきたいと思います。
県道22号線(南島線)の道路幅が狭く、交流量が多い。特に大型車両が多く、法定速度超過していると思われる車両が多い。事故災害の無い間に、道路の改善及び警察の取り締まりの強化をお願いします。	道路の安全性を危惧されての沿線住民様からの切実な要望として、道路管理者である三重 県及び警察へ、安全に使用出来るように、しっかりと協議を繰り返し行いたい。

要望・意見内容	市長回答
堤防道路と平面交差する高向小俣線に車が乗り入れできるように、また、宮川町の墓へ行く 道路を整備していただくように、計画変更をお願いします。	国土交通省が計画する堤防改修との調整や三重県公安委員会、東海旅客鉄道株式会社との協議などを行ってまいりたいと考えております。
	昔に比べて合併処理浄化槽の浄水レベルが下水道レベルまで上がったこと、人口構造が大き く変わったことなど、このような状況から見直しがあったことにご理解いただきたい。 雨水排水関係はしっかり確認させていただきたいと思います。
空家がネコ等の住み家になっている。対策を考えてほしい。	空家を持っている方に対し、撤去や活用方法のご案内をしておりますので、情報提供をお願いします。また猫が繁殖しないよう避妊手術をして地域にもどす活動を、NPOの方にご協力いただき取り組んでおります。